



# 魚群監視潮流計

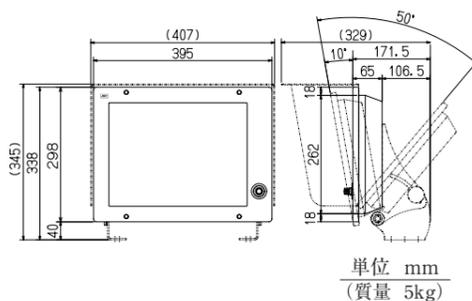
## JLN-628 15"LCD表示器タイプ

### 仕様

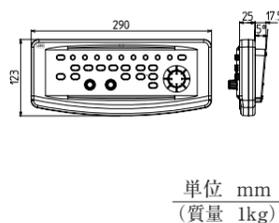
1) 潮流	
流速	0~9.9ノット
流向	全周(360°)、数値および32点方位表示
測定層数	絶対3層、相対2層(対水モード時は相対3層可能)
測定深度	2~100m以上(水深の70%以下) (注)測定深度は、海中の状態により異なる場合があります。
深度設定	2~200m任意設定可能
基準	ドップラ、またはGPS
2) 船速	
前後	-10.0~30.0ノット
左右	-9.9~9.9ノット
方向表示	360°全方向
測定深度	対地:2~250m、対水:3m以深(対水・対地同時表示) (注)測定深度は、海中、海底の状態により異なる場合があります。
その他	手動海底追尾機能
3) 表示方法	
表示器	15インチカラーLCD
表示モード	潮流、船速、魚群、経過、航跡
数値表示	流向・流速(絶対3層、相対2層)、測定深度 対地船速/針路、対水船速/針路、 コンパス方位、航程、緯度経度、年月日、時刻
図形表示	絶対潮流ベクトル、相対潮流ベクトル、船速ベクトル、 水温グラフ、流向流速グラフ、深度グラフ、船速グラフ、 魚群映像表示、航跡表示、警報リング

4) 警報機能	流速、船速、航程、タイマー、水温
5) 入出力信号	
入力	①方位データ NMEA0183 [端子板信号名:COMPASS IN] \$ _HDT, \$ _VHW, \$ _HDM, \$ _HDG ②緯度経度データ NMEA0183 [端子板信号名:GPS IN] \$ _RMC, \$ _GGA, \$ _GLL, \$ _VTG ③水温データ NMEA0183 [端子板信号名:TEMP IN] \$ _MTW ④干渉防止用送信トリガ [端子板信号名:TRIG1, TRIG2]
出力	①船速潮流データ NMEA0183 (Ver2.3/3.0) [端子板信号名:NMEA OUT (1回路)] \$ VDBW, \$ VDWLW, \$ VDBBT, \$ VDCUR, \$ VDRMC (注)外部装置から緯度経度データ\$ _RMCが入力されている場合のみ。 \$ VDHT (注)外部装置から方位データ\$ _HDTが入力されている場合のみ。 ②航程接点信号 200パルス/海裡 [端子板信号名:200P1~200P6 (6回路)] ③JRCフォーマット信号 [端子板信号名:UART1, UART2]
6) 電源	DC20~32.4V 200VA以下
7) 動作温度	-15~+55℃
8) 送信周波数	240kHz

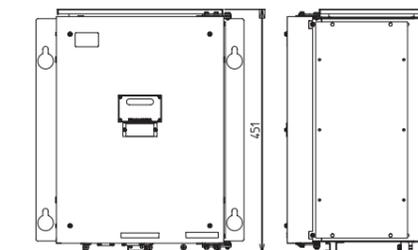
### 外形図



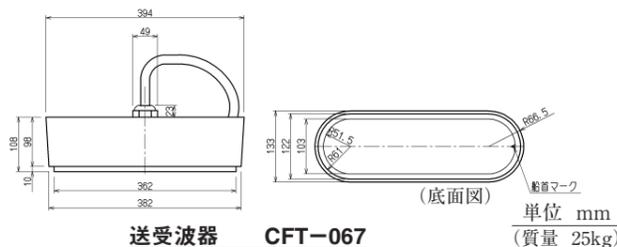
カラーLCD表示器 NWZ-164



操作部 NCH-595



信号処理器 NJC-23C



送受波器 CFT-067

※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。

**注意** 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

**JRC 日本無線株式会社**

JRCウェブサイト <http://www.jrc.co.jp/>

本社事務所 〒160-8328 東京都新宿区西新宿六丁目10番1号 日土地西新宿ビル  
海上機器営業部 (03)3348-2351 (ダイヤルイン)

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 北海道水産ビル ☎(011)261-8321(直通)  
東北支社 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-9-8 田山ビル ☎(022)225-6833(直通)  
中部支社 〒460-0008 名古屋市中区栄2-6-1 白川ビル別館 ☎(052)203-1225(業務課)  
関西支社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-28 ☎(06)6344-1633(直通)  
九州支社 〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31 ダヴィンチ博多 ☎(092)262-2141(直通)  
三鷹製作所 〒181-8510 東京都三鷹市下連雀5-1-1 ☎(0422)45-9111(案内)  
雅内 釧路 帯広 函館 青森 八戸 秋田 盛岡 福島 新潟 長野 さいたま  
静岡 焼津 金沢 福井 岐阜 神戸 松江 広島 山口 高松 高知  
佐賀 大分 長崎 熊本 宮崎 鹿児島 那覇 シアトル ニューヨーク アムステルダム  
アテネ 台北 マニラ ハノイ シンガポール ジャカルタ

34JM **ISO9001, ISO14001 認証取得**  
2007年2月作成 © 2002.6 CAT.No.G157 (No.448-3-3)A

操作、機能性の追求により  
潮流、魚探情報を素早く把握。  
充実機能と、省スペース化で  
様々なフィールドをサポートします。



**JRC 日本無線**

## 潮流・魚探情報を素早く把握

きめ細かな自航跡表示<sup>\*1</sup>、自航跡上に流向・流速を表示する画面では、広範囲な潮流状況が把握できます。自船のドリフト状況も一目で確認ができます。潮流、水深、水温<sup>\*2</sup>の時間経過をグラフ表示する画面では、潮目が容易に発見できます。

<sup>\*1</sup>:GPSの緯度経度データと、方位センサの入力が必要です。 <sup>\*2</sup>:水温データの入力が必要です。

### 特長

#### 1. 4方向多面魚探映像機能

4方向の魚探映像表示、前方2方向または、任意の1方向の表示を選択することができます。魚群の移動方向を容易に類推できます。通常の魚群探知機と同様に感度ボリュームにより映像を見ながら魚種・海域にあわせた設定ができます。

#### 2. 魚探・潮流の同時表示

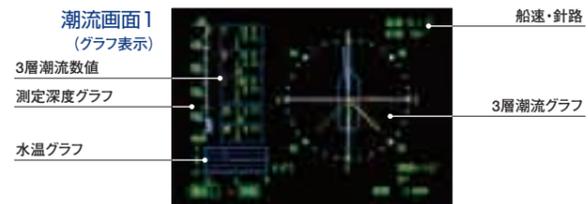
魚探映像を表示させながら、潮流計測もできます。

#### 3. 漁網の制御に役立つ、3層の流向、船速の同時表示

- 絶対潮流の3層(上、中、底)を同時表示します。深度設定は、各層とも自由に設定できます。
- 対地速度、水深および航程を常時表示できます。
- C層(底)基準の相対潮流(タテ潮)と海底基準の絶対潮流(カカリ潮)を同時に表示できます。また、ダイビング・フィッシングなどの安全確保の情報としても活用することができます。

### 映像例

#### 潮流



#### 船速

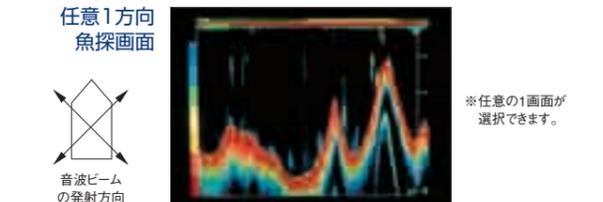
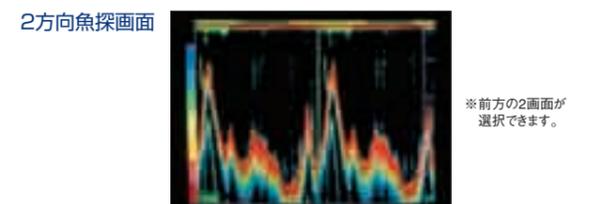
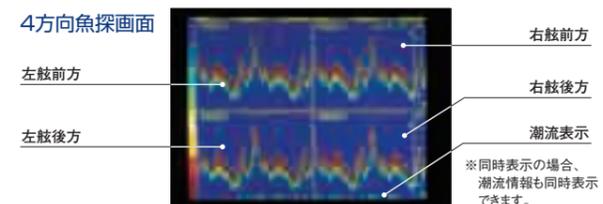


#### 航跡

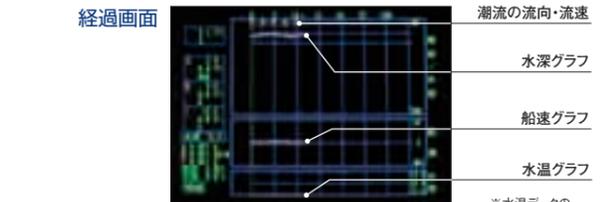


<sup>\*1</sup>:GPSの緯度経度データと、方位センサの入力が必要です。

#### 魚探



#### 経過



## 素早い判断を、確かな情報から

JLN-628は、現在お持ちになっているJRC製品、オプションの接続により、より多機能で安定した情報をディスプレイします。

### オプション

#### A. GPS船速基準の絶対潮流表示

GPS航法装置の接続により、水深が深く対地速度が計測できない海域ではGPS船速を基準とした絶対潮流を表示することができます。また対地速度が計測される時は、ドップラ対地船速を基準とし、対地速度が計測されない時は、GPS船速を基準とする様に自動的に切り替える設定もできます。

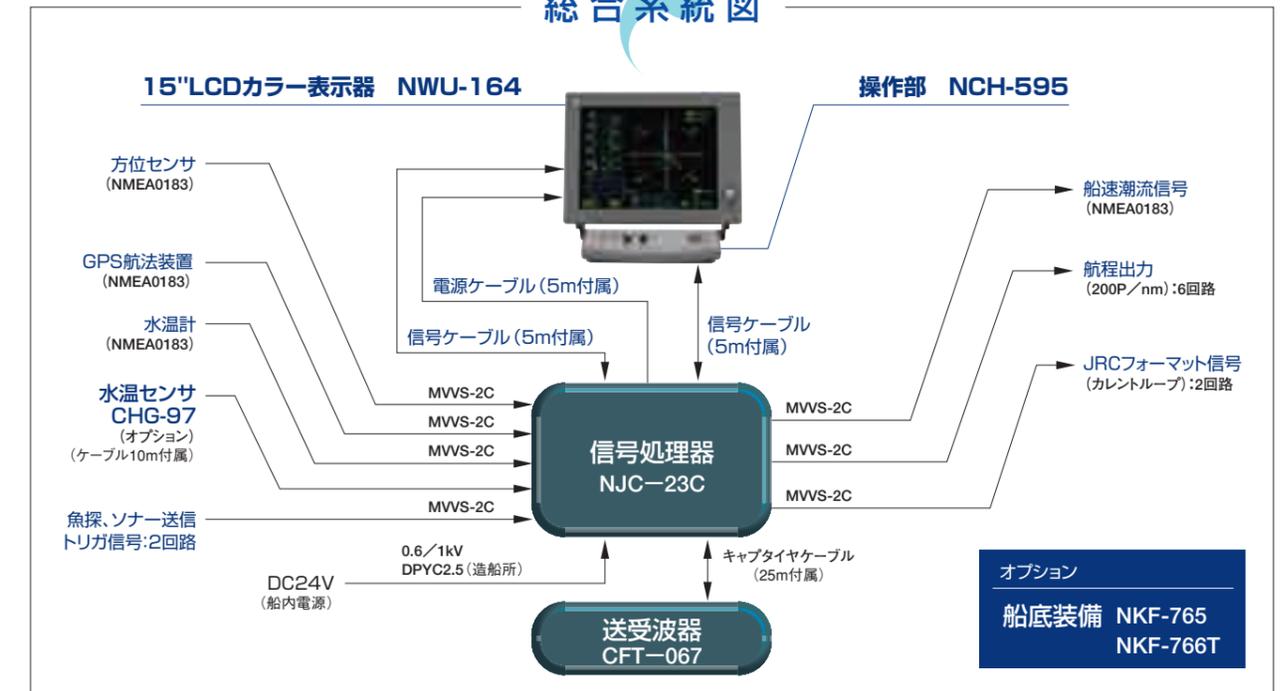
#### B. データの安定化

流向を安定に表示させるために方位センサ (GPSコンパス、ジャイロコンパス、又は電子コンパスセンサ) の接続が必要です。

#### C. 水温表示

水温表示を行う場合は水温計、又は水温センサのいずれかの接続が必要です。

### 総合系統図



### 構成

標準構成					
番号	品名	型名	数量	質量	備考
1	カラーLCD表示器	NWZ-164	1	5kg	
2	操作部	NCH-595	1	1kg	
3	信号処理器	NJC-23C	1	23kg	
4	送受信機	CFT-067	1	25kg	25mケーブル含む ※別途、貫通金具が必要です。

オプション					
番号	品名	型名	数量	質量	備考
1	船底装備鋼材	NKF-765	1	27kg	木造船、またはFRP船底用 ※貫通金具付
2	船底装備鋼材	NKF-766T	1	95kg	鉄船底用 ※貫通金具付
3	木造、またはFRP船底用貫通金具	MPJD30016A	1		
4	鉄船底用貫通金具	MPJD30014A	1		
5	カラーLCD表示器用架台	MPBX42944	1		
6	サンバイザー	MPOL30369	1		